

きらり

2006.6.21

4年生 学級便り

6月7・8日のカプトガニ見学、続く日曜参観もお世話になりました。参観授業で見ていただいた通り、子どもたちは事前学習から本番の宿泊研修、そして帰ってからのまとめまで、一生懸命がんばりました。

1日目



休憩も含めて、約3時間の半の道のりを、話をしたりしながら楽しく過ごしました。お母さんの作ってくれたお弁当もとってもおいしそうでした。ちなみに出発30分くらいで、「お腹が空いた〜という人も・・・!？」

道中、社会科で勉強した電気の源、原子力発電所を発見しました。とても大きくて立派な施設にみんなびっくりしました。

カプトガニが産卵にやってくる Reeds Beach に到着しました。雨は小降りになりましたが、外は風が強く冷え込みます。しかし、4年生の9人は目をキラキラさせながら、はりきってレインコートを羽織り、ビーチへと向かいました。

しかし、そんな子どもたちの期待をよそに、ビーチには、カプトガニの無数の死骸と、彼らが産みつけたのであろう卵をついばむ鳥たちの姿がありました。事前学習では、約2割、およそ1万2000匹ものカプトガニが毎年力尽きて死んでいくことを学んでいた子供たちですが、実際の多さにショックを受けていたようです。そんな中、たった一匹の生きたカプトガニに出会いました。菜里子ちゃんが、「えいや!」とびっくり返し、

無事海へと帰って行きました。みんなで「がんばれ～！あと少し！」と一生懸命応援している姿が感動的でした。



2日目

昨日とは打って変わって、外は穏やかないい天気。今日こそはカブトガニに会えるかなと期待を膨らませて Reeds Beach へ。いきました！たくさんのカブトガニが産卵をしに海岸へとやって来ていました。しかも事前学習のビデオで見たとおり、メス一匹に対してオスが三匹も四匹もくっついて取り合いをしています。その中のオスを実験のため引っ張って見ましたがびくともしません。オス特有の鋭い爪でしっかりとメスの甲羅にしがみつきます。周りには、産卵後の卵をねらってたくさんの渡り鳥たちが待ち構えており、カブトガニが去ったとたんとその周辺を荒らします。毎年引率をしている小西先生によると、ここまでたくさんのカブトガニの産卵を見られたのは今年が初めてだとか。昨日は過去最悪の日、そして今日は過去最高の日でした。

